

2026年度

助産別科

入学者選抜問題

小児看護学

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
2. 解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙が両面に印刷されています。
マーク式の問題はマーク用解答用紙に以下の例のようにマークしてください。
(例)

解答										
1	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
2	①	②	③	●	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

※各問題に解答の数を示しています。それ以外の答えの数をマークしても正解にはなりません。

記述式の問題は記述用解答用紙に記入してください。

3. 机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式は除く）・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡以外のものは置かないでください。
 4. 問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
 5. 問題は全問解答必須です。
 6. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
 7. 問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
 8. 配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。
- ◇携帯電話は、電源を切ったうえで鞆の中にしまってください。

受験 番号							氏 名	

【問題1】 令和4年の不慮の事故の死亡状況について、9～14歳で1位はどれか。1つ選べ。

1. 窒息
2. 交通事故
3. 溺死および溺水
4. 転倒・転落・墜落

【問題2】 子どもの発達・発育で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 脳神経系は思春期に急速に発達する
2. 身体各部の発達の臨界期は一定である
3. 基本的な運動発達は下方から上方へ向かう
4. 新生児期には環境よりも遺伝の影響が大きい

【問題3】 エリクソンによる青年期の発達課題はどれか。1つ選べ。

1. 親密性
2. 勤勉性
3. 自主性
4. 同一性

【問題4】 ピアジェ、J. の認知発達理論における段階と病気の説明に使用するツールの組合せで適切なものはどれか。1つ選べ。

1. 前操作期 —— 絵本
2. 感覚運動期 —— 紙芝居
3. 具体的操作期 — 動画
4. 形式的操作期 — パンフレット

【問題5】 出生後の成長で、最も早く成人の大きさに達するのはどれか。1つ選べ。

1. 脳
2. 肺
3. 生殖器
4. 扁桃腺

【問題6】 身体発育で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. カウプ指数 17 は正常範囲である
2. 肥満度 30% 以上は高度肥満である
3. 身長が発育速度は思春期に最大になる
4. 骨端線の閉鎖が早いほど最終身長は高くなる

【問題7】 乳児が1日に必要とする体重1kg当たりの水分量はどれか。1つ選べ。

1. 40 mL
2. 60 mL
3. 100 mL
4. 150 mL

【問題8】 採血を受ける5歳児への声掛けで**適切でない**のはどれか。1つ選べ。

1. 「1回で終わるよ」
2. 「泣いてもいいよ」
3. 「今日はどこで採血する？」
4. 「終わったらプレイルームで何する？」

【問題9】 高熱が数日続き解熱とともに小さい紅斑が体幹・顔面・四肢にあらわれる感染症はどれか。
1つ選べ。

1. 麻疹
2. 風疹
3. 突発性発疹
4. 伝染性紅斑

【問題10】 入院中に陰圧室に隔離すべき感染症はどれか。1つ選べ。

1. 水痘
2. リンゴ病
3. 手足口病
4. 突発性発疹

【問題11】 小児の外来看護で最も優先されるのはどれか。1つ選べ。

1. 育児相談
2. 病棟との連携
3. 社会資源の紹介
4. 感染症症状の確認

【問題12】 痛みを緩和する看護として**適切でない**のはどれか。1つ選べ。

1. 注意転換法を試みる
2. 冷罨法・温罨法を適宜おこなう
3. 薬剤使用のタイミングは家族に一任する
4. 学童や思春期では気分転換が有効である

【問題13】 学童期の肥満で**適切でない**のはどれか。1つ選べ。

1. ローレル指数で評価する
2. 食事では炭水化物の摂取制限を行う
3. 肥満傾向児は、女子よりも男子に多い
4. 単純性（原発性）の肥満がほとんどを占める

【問題14】 小児期の消化機能の発達で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 乳歯は1歳半で20本生えそろふ
2. アミラーゼの活性は2～3歳で成人と同程度になる
3. 膵リパーゼの活性は4～5歳ごろ成人と同程度になる
4. 新生児の腸内細菌叢は成人の腸内細菌叢の構成と同一である

【問題15】 1歳半ごろの幼児の生活習慣の自立について、正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 靴を脱ぐことができる
2. コップやスプーンを使える
3. 帽子をかぶれるようになる
4. 手を洗い、拭くことができる

【問題16】 パーセンタイル値による身長・体重評価について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 50 パーセンタイル値は平均値を示す
2. 同性同年齢のこども集団の平均と標準偏差を用いる
3. 80 パーセンタイルでは全体の中で上位 2 割に相当する
4. 10 パーセント未満、90 パーセンタイル以上では精密検査が必要である

【問題17】 思春期・青年期の喫煙について**適切でない**のはどれか。1つ選べ。

1. 親が喫煙している場合は、喫煙率が高い
2. 友人が喫煙している場合の喫煙率は高率である
3. 男子は女子よりも短期間で常用するようになる傾向がある
4. 思春期の常習喫煙者と退学率などの社会適応の問題が報告されている

【問題18】 予防接種について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 定期予防接種は 14 疾患が対象となっている
2. 2014 年に流行性耳下腺炎が定期接種に加わった
3. 予防接種率の増加によりブースター効果が期待できる
4. 注射生ワクチンと注射生ワクチンは 2 週間以上の間隔をあける

【問題19】 治療における子どもへの意思決定の支援で重要なのはどれか。1つ選べ。

1. アドボカシー
2. ノンコンプライアンス
3. インフォームド・アセント
4. インフォームド・コンセント

【問題20】 新生児壊死性腸炎について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 発症は生後 24 時間以内が多い
2. 死亡率は 0.3 パーセント程度である
3. 人工栄養に比べ、母乳栄養で発症率が高い
4. ケイツーシロップ剤の投与では希釈または乳汁に混ぜる

【問題21】 新生児の黄疸について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. クームス検査は母乳性黄疸の診断に有効だ
2. 光線療法によりビリルビンが分解し児の便は白くなる
3. 人工栄養の児では新生児黄疸が1～2か月続くことがある
4. 生理的新生児黄疸は生後2～3日で出現し1週間ほどで軽快する

【問題22】 特発性血小板減少性紫斑病について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 血小板産生は正常である
2. 足関節と膝関節の関節痛と腫脹をみとめる
3. 腹痛・嘔吐・血便・下血などの腹部症状がみとめられる
4. 紫斑の2～3週後に20～60%の症例で血尿・蛋白尿をみとめる

【問題23】 自閉スペクトラム症の説明で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 忘れ物が多い
2. 席にじっと座ってられない
3. 興味と遊びが限定的で反復的だ
4. タイムアウトなどの対応が有効だ

【問題24】 クループ症候群について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 嗄声
2. 吸気性喘鳴
3. 犬吠様咳嗽
4. 咽頭の粘膜と粘膜下組織の炎症

【問題25】 気管支喘息の急性増悪（発作）時の状態を示していないのはどれか。1つ選べ。

1. 徐脈
2. 睡眠障害
3. 呼気延長
4. 話せない

【問題26】 健康な小児の成長・発達で**正しくない**のはどれか。1つ選べ。

1. 発達とともにレム睡眠の割合は増える
2. 体重は出生後1年で出生時の約3倍になる
3. 身長は出生後1年で出生時の約1.5倍になる
4. 生後6か月児は「怒り」「おそれ」「嫌悪」の「情緒の分化」がみられる

【問題27】 主に生後7か月ごろから出現する反射はどれか。1つ選べ。

1. 把握反射
2. 吸啜反射
3. 引き起こし反射
4. パラシュート反射

【問題28】 感情の分化について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 子どもの感情は5歳ごろまでに基本的な発達をとげる
2. 7歳ごろには成人にみられる情緒がひとつおそろう
3. 愛情の表現は7か月を過ぎると泣いて示すようになる
4. 3か月ごろより興奮だけでなく、快・不快感をあらわす

【問題29】 脳性麻痺について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 遺伝性疾患・進行性疾患である
2. ボイタ法・ボバース法により診断する
3. 発生率は出生1000対10～20人である
4. ボツリヌス菌毒素が痙性軽減に使われている

【問題30】 點頭てんかんの発作の説明で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 乳児期に発熱や入浴によって誘発される
2. 突然意識が消失してぼーとなり、動作を止める
3. 睡眠中突然嘔吐、チアノーゼ、眼球偏位が起こる
4. 頭を急にガクンと前屈、両手を抱きかかえるように前方へ進展させる

【問題31】 出血傾向のある子どもの看護で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 髪を短く切る
2. ハサミを使わせる
3. 駆血は衣服の上から行う
4. 血圧測定を中止し出血を防ぐ

【問題32】 血液、造血器疾患と原因の組み合わせで正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 血小板減少 ————— 血友病 A, B
2. 凝固因子欠乏 ————— 血管性紫斑病
3. 血管障害 ————— 血小板減少性紫斑病
4. 汎血球減少・骨髓の低形成 — 再生不良性貧血

【問題33】 歯の形成について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 乳歯は胎生期に石灰化が始まる
2. 乳歯は生後1歳半ごろ生えそろう
3. 永久歯は新児期から石灰化が始まる
4. 乳歯は28本、永久歯は32本である

【問題34】 チアノーゼを生じやすい先天性心疾患はどれか。1つ選べ。

1. 動脈管開存症
2. 心室中隔欠損症
3. 心房中隔欠損症
4. Fallot〈ファロー〉四徴症

【問題35】 大泉門の説明で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 1歳までに閉鎖する
2. 陥没している場合は髄膜炎を疑う
3. 閉鎖が早すぎる場合は小頭症を疑う
4. 頭頂骨と後頭骨に囲まれた部分である

【問題36】 次の感染症の中で、第二種の学校感染症はどれか。2つ選べ。

1. 風疹
2. 麻疹
3. 腸チフス
4. エボラ出血熱
5. 急性出血性結膜炎

【問題37】 統計の算出で出生数を分母とするのはどれか。1つ選べ。

1. 出生率
2. 死産率
3. 乳児死亡率
4. 周産期死亡率

【問題38】 新生児の身体の生理機能に関して適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 呼吸数は1分間に20～30回
2. 生理的体重減少は出生時体重の3～10%
3. 動脈管（ボタロウ官）は生後15～30時間で閉鎖
4. 生理的黄疸は血清ビリルビン値が上限はおよそ15 mg / dℓ
5. 血圧は収縮期は100～110 mmHg、拡張期は60～70 mmHg

【問題39】 A君（9歳、男児）は両親と3人暮らし。朝食を摂らない日もあり、両親が共働きのため、学校から帰宅後は両親が帰宅するまで1人で過ごしている。母親が帰宅すると、ゲームをしながらお菓子を食べていることが多い。A君と両親に対する食生活指導で適切なのはどれか。
1つ選べ。

1. 家族そろって朝食を摂るよう勧める
2. A君に自由に好きな食べ物を購入させる
3. 栄養補充を考慮してサプリメントを勧める
4. 調理時間短縮のために主食としてレトルト食品の使用を勧める

【問題40】 令和5年の乳児死亡率はどれか。1つ選べ。

1. 3.3
2. 1.8
3. 0.8
4. 0.6

【問題41】 急性中耳炎と診断された5歳児とその保護者に対する生活指導で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 「再発することはありません」
2. 「耳痛があるときは絶食にしましょう」
3. 「片側ずつ静かに鼻をかんでください」
4. 「耳垢は溜まらないように毎日除去してください」
5. 「症状が落ち着いたら抗菌薬の内服は中断してください」

【問題42】 幼児期の身体生理機能について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 乳歯は3歳頃までにはえそろう
2. 脳重量は3歳で出生時の2倍
3. 呼吸数は1分間に20～30回
4. 全睡眠の50%はレム睡眠
5. 尿量は70～100 ml / kg / 日

次の文を読み〔問題43〕〔問題44〕〔問題45〕の問いに答えよ。

Bちゃん（5歳、男児）は、両親と弟（生後7か月）である。近所に祖父母は住んでいる。Bちゃんは、1歳のときにてんかんと診断され、抗てんかん薬を服用している。知的発達の遅れはなく、通園している近所の幼稚園では友達と外で活発に遊ぶのが好きである。Bちゃんは1か月前から、ときどき意識消失発作がみられるようになり、かかりつけ医を受診し経過を観察していたが1週間前から発作の頻度が増えたため、検査と治療の目的で総合病院の小児科に入院した。母親は、「ときどき薬を飲ませるのを忘れてしまうことがありました」と看護師に話した。

〔問題43〕 入院後、Bちゃんに行われる検査はどれか。1つ選べ。

1. 髄液検査
2. 脳波検査
3. 脳血管造影検査
4. ミエログラフィー

〔問題44〕 入院2日目。Bちゃんは発作を起こすことなく過ごしている。Bちゃんへの看護で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 両親の面会は制限する
2. 食事はきざみ食にする
3. ベッド上安静が必要である
4. トイレ歩行時には看護師が付き添う
5. 病室はカーテンをして暗めにする

〔問題45〕 Bちゃんはてんかん発作がみられず過ごし、退院することになった。抗てんかん薬の内服と定期受診が必要であると医師から説明を受けた母親は、「忘れないように工夫はしているのですが、仕事もしているし、家事や弟の世話が大変で、またつい忘れてしまうのではないかと不安です」と言う。看護師の対応で最も適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 「落ち着くまでもう少し入院させましょう」
2. 「忘れたときは次の内服時間に倍量飲ませましょう」
3. 「Bちゃんのお父さんや祖父母の協力は得ましょう」
4. 「もうすぐ小学生なので、Bちゃんに管理してもらいましょう」

【問題46】 食物アレルギーのある学童期・思春期の子どもに対する生活指導について述べよ。

- ① 日常生活における指導の要点
- ② 「食物依存性運動誘発アナフィラキシー（FDEIA）について」の説明と予防について

〔メモ〕

[illegible]

※こちらはメモ欄です。解答は記述用解答用紙に記入してください。

